

紙製ニテ胡粉、丹、綠、青、其外トモ彩ヲ加フ、江戸元日ニハ淺草寺ヲ初メ、其他諸所詣人多キ神社等頭上○頭上賣之、初卯龜井戸亦專ラ賣之、當月中諸神佛緣日亦賣之、買人ハ霜月酉町ノ熊手ト同ク、又供○供天井裏ニ釣之、

〔草山集九雜體〕歲旦、慈悲室法界牀、柔和衣、知見香、超然忘出處、卓爾遺行藏、霞谷風光別、鶯啼春日長、雖無方便父、猶有般若母、門生六、七人、如足亦如手、今朝偶逢三元辰、借取如來師子吼、所有功德分二分、薦父福兮祝母壽、

〔元寬日記〕寬永十五年正月朔日、今日肥前國天草城有軍○中、板倉内膳正重昌、紺糸之鎧、唐之頭ノ申半月指物、打出之砌、取寄硯料紙、自筆認狀、其詞云、

去年元日、江城ニシテ烏帽子ノ緒ヲシメ、今日鎮西原城結甲緒、早打立候、何事モ替リ行世ノ慣今更ニ候、カシク、

新玉ノ年ニマカセテ咲花ノ名ノミ殘ラバサキガケト知レ

正月元日

板倉内膳正重昌

石谷十藏殿

〔枕草子〕正月二日は、まいてそらのけしきうらくとめづらしく、かすみこめたるに、世に有とある人は、すがたかたち心ごとにつくろひ、君をも我身をもいはひなどしたるさま、ことにおかし、

〔友俊記〕今宵子の刻過ぬれば、元朝の儀にて、公卿殿上人めいゝに内侍所に參り拜す、にぎはひ春のあしたをまち立たるけしきなり、内侍所にては、典侍内侍きぬにて、大御乳人御する、女玄ゆをもてつかう、已下それぐの間、びやうぶをかこひ、めいゝにこんをす、む、院の御所にて、公卿殿上人とのゐにのこれる人々の外は、まゐりむかふ、今にてはこのならひのごとくに侍る、